

関西支部シニア会活動報告

行事名	2022 年度 (第 16 回) シニア会と学生会の交流会
開催日時	2022 年 10 月 8 日 (土) 14 時 30 分から 18 時 40 分
場所	京都大学 桂キャンパス C クラスター C3 棟 講義室 1 から 4
参加人数	49 名 (シニア会 8 名、学生 34 名、教員ほか 7 名)
行程	<p>今回の交流会は、「シニア会と学生会との討論会～持続可能な開発目標 (SDGs) を支える機械工学～」とのテーマを掲げて開催。</p> <p>古池治孝シニア会会長の開会挨拶に続いてシニア会会員の野方文雄氏の基調講演「気づく力、考える力、基礎科目で機械工学の守備範囲は広く楽しい：タケの力学的かしこさ」とシニア会会員 4 名 (並木宏徳氏、取違典嗣氏、本田善久氏、出水力氏) による自己紹介を兼ねた提言があった。学生会からは小山光君 (京都大学)、松浦健祐君 (大阪工業大学) の提言があった。</p> <p>休憩を挟んで 4 グループに分かれてグループ別自由討論会と懇談会 (弁当付き) が行われ、総括として、各グループの代表学生諸君から討論内容の報告があった。最後に学生会幹事長の土屋智由先生による締めの挨拶と記念撮影があり閉会した。</p>
感想	<p>今年度は久々に対面による交流会を再開したが、新型コロナ対策については学生会側のご配慮とご協力により、シニア会員も安心して参加することができた。</p> <p>野方氏による基調講演では、卒業論文や大学院の課題において計測や解析した結果についてデータに含まれる秘密に気づくか気づかないかが大きな分かれ道になった事例として、モウソウ竹の横断面を子細に観察し、タケ繊維の配置が維管束による穴周りの応力集中が高い部分に密に配置されていることに気づいた経験が語られた。日々の生活で気づく力を身につける事、専門基礎科目、専門知識をしっかりと習得する事、実務を経験する事で考える力が向上するとの提言は、学生諸君にとって大変に有益なものであったと思われる。</p> <p>また、学生の提言では趣味や研究のほかシニア会会員に聞きたいことが率直に語られ、シニアメンバーにとっては良い刺激になったと思われる。</p> <p>4 部屋に分かれ対面で実施されたグループ別討論会では自由な雰囲気の中で意見交換が行われた。全体での総括では各グループの代表学生から報告があり、シニア会員からの提言や学生がシニア会員に聞きたい話題について活発な討論が行われた。</p>

グループ別討論会の様子

